

過去の出題傾向について確認しておこう！

九大入試研究[地理B]

▶ 出題一覧表

2015年度より、文学部にのみ、入試科目に地理歴史が加わった。2015年度・2016年度九大本試の出題内容について、大問ごとに概観してみた。

| 年度 | 問題番号 | 出題内容 | 講評 |
|------|------|----------|--|
| 2016 | [1] | 世界の都市圏人口 | 世界の都市圏における人口規模の変化を示す統計表をもとに、統計表中の4都市を判定する選択問題、先進国の都市圏内部における変化と問題を論ずる論述問題、発展途上国の首位都市が形成された要因や問題点を論ずる論述問題が出題された。 |
| | [2] | BRICs 諸国 | BRICs 諸国に関する概要を示した統計表をもとに、統計表中の国名を判定する記述問題、BRICs4か国に共通する特徴を論ずる論述問題、ブラジルとインドの農牧業の共通点と相違点について論ずる論述問題が出題された。 |
| 2015 | [1] | 世界の貿易 | 6ヶ国の輸出品構成比と輸出総額の統計をもとに、国名判定、共通点によるグループ分け、グループごとの経済の特徴についての論述、第二次世界大戦後の世界における国家間の経済関係と問題点についての論述が出題された。 |
| | [2] | オセアニア地誌 | オセアニアの地図とグラフをもとに、ハイサーグラフ判定、オーストラリアの農牧業の特徴についての論述、オーストラリアの貿易の変化についての論述、太平洋島嶼地域の産業の特徴と現在の問題についての論述が出題された。 |

▶ 分析と対策

系統地理と世界地誌から1題ずつという構成から、偏りのない学習を求められていることがわかる。各分野の基礎・基本をひたすら徹底することが必要である。90分で900字の論述は、他の国公立大と比べて特に過大な分量ではない。しかし、普段から論述式答案を書き慣れていない受験生にとっては重い負担である。十分な経験によって獲得された作文能力とスピードが要求される。

対策の方針としては、早めに基礎的な知識を習得した上で、大阪大学や筑波大学など類似の形式で出題する他の国公立大学の出題を利用して、100～300字程度の論述トレーニングを十分にしておくことである。この際、必ず適切な添削を受けるようにしたい。さらに、論述問題集などで各分野の頻出論点をおさえておくことも望ましい。